

コメツツジ

Rhododendron tschonoskii Maxim.

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 本県の生育地は山地尾根の岩角地に限られ、個体数もごくわずかである。異常乾燥、植生遷移の進行などによって生育環境が悪化し、絶滅の危険性が高い。

県内分布 祖母・傾山地，北川上流域

分布域 北海道 本州 四国 九州(熊本・大分)
朝鮮半島(南部)

生育環境 山地の尾根岩場。

現 状 環境の悪化で衰退した所がみられる。

備 考 国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，祖母傾]

ヒュウガミツバツツジ

Rhododendron viscistylum Nakai
var. *hyugaense* Yamazaki

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 宮崎県を中心に分布する。本県では岩場に生えるが、生育範囲は狭く、個体数も少ない。植生遷移による環境変化や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 豊後水道後背地域，北川上流域

分布域 四国 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 低地や丘陵地の岩場。

現 状 最近、上記の地域で生育が確認された。道路近くでは、人による採取がみられる。

備 考 「北川上流域」ではイワツツジと呼ばれている。

コケモモ

Vaccinium vitis-idaea L.
var. *minus* Lodd.

ツツジ科
Ericaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 九州では「九重火山群」の山頂帯だけに生育する。生育地は登山者が多く、踏みつけや人による採取などで、生育環境の悪化や減少が懸念される。

県内分布 九重火山群

分布域 北海道 本州 四国 九州(大分)
母種ヒロハコケモモは朝鮮半島，千島 樺太～北半球寒帯～高山帯

生育環境 火山山頂帯の風衝地。

現 状 生育地は山頂帯の風衝地で、風雨による侵食で自然崩壊している所がある。また、登山者による踏みつけの被害も大きく、人による採取が各所にみられる。

備 考 国指定天然記念物「九重山のコケモモ群落」(久住町・九重町)，国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]